

会議名 令和3年度第1回広報広聴検討会議

開催日 令和3年11月4日(木)	会議時間	開会 AM 9:30 閉会 AM 11:30
会議場所 役場 災害対策室	記録者	企画環境課広聴広聴係 嘱託職員 四條 楓弥
出席者 委員：小坂みゆき委員(座長)、沼尻賢治委員、 マイケル・ダベンポート委員、ランド千佳委員、山田友理子委員 町：高瀬企画環境課長、大野広報広聴係長、四條嘱託職員		

会議日程

- (1) 座長選出
- (2) 広報ニセコについて
- (3) 広報広聴全般について
- (4) その他

会議内容

<p>■町長あいさつ</p> <p>■事務局より本会議の概要説明</p> <p>■自己紹介</p> <p>■座長選出 小坂みゆき委員</p> <p>■議事(小坂座長による進行)</p> <p>【広報広聴全般・広報ニセコについて】</p> <p>大野係長より広報広聴全般・広報誌について報告</p> <p>●広報誌について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の特集テーマはどのように決めているのか。 (大野)自分が「町民のみなさんが興味があるのではないか」と思ったものや、各課から依頼のあったものを特集している。 ・各課から依頼のあったテーマはいつごろ特集されるのか。 (大野)依頼があっただけ早め、もしくはその情報を出すのにベストなタイミングの号で特集する。 ・2021年11月号に特集がなかったのはなぜか。 (大野)120周年記念誌の編集を同時に行っていたため、特集に割ける時間がなかった。 ・8月号の登山特集は面白かった。11月号の条例のおしらせは内容が難しく読みにくかった。環境は身近な問題なので、読み手に響く楽しく読める工夫がほしい。 ・今回の内容であれば、今年の夏は暑くてエアコンなしでは過ごせなかった、農家さんにとってはじゃがいもが小ぶりなど、気候変動を自分事として感じてもらえるような導入があると興味をもって読んでもらえるのではないか。 ・2050年までのCO2削減目標を町で掲げているのであれば、自分たちの取り組みによってどれだけ削減できたかわかれば参加しようという意欲も湧く。 ・制度やきまりができたあと、どのように反映されているのかがわかるようになるとうい。

・普段の特集などが良くできているため、力の抜けているページが一目でわかってしまう。
・3~4か月に一度注力した特集を作成、ほかの号については流し気味にするなど仕事の仕方に工夫が必要ではないか。

・9月のあそぶっく特集で多くの人に知ってもらえた。資料としても残るのでありがたいが、ほかの公共施設も今後特集する予定はあるか。

(大野) 時期にあったものを特集していくため、今のところは予定していない。

・町内会の特集をきっかけに町内会に興味を持つ人が出てきた。

・過去に人気のあった特集などはあるか。

(大野) 調べてはいないが、去年の国際交流を特集した号は在庫冊数が少ないため人気なのではないか。

・広報誌はどのように配布しているのか。

(大野) 町内会経由での配布と町内の各施設(役場、コンビニ2件、綺羅乃湯、あそぶっく、ラジオニセコ、道の駅)に置いている。ホームページからも読めるようになっている。

・広報誌の存在自体を知らない人もいるので、そういった人にどのようにアプローチするのか考える必要がある。

・年に一度、サンプル広報誌を全戸配布してはどうか。

(高瀬) 町としてはなるべく町内会に加入していただきたい。町内会は会費もかかるので無理強いできないが、サンプル広報誌の配布はお金もかかるので、難しい。

・広報誌は年配の方はよく見ているイメージ。若年層にはソーシャルメディアなどで広報誌の発行をお知らせする必要がある。

・広報誌は、町の情報がつまっており、貴重な情報源だと思う。

・町内会に加入するまでは広報誌の存在を知らなかった。ニセコ町は移住者も多いので、広報の存在をお知らせする方法があるとよい。

・転入届が出されたときに一度だけお試し広報誌を渡してはどうか。町内会への加入を促したり、防災ラジオとセットにして配るなど。

・外国人住民の立場からいうと、広報の記事の一部だけでも英語で翻訳されているとよい。どういう内容の特集だったのかわかるような、さわりだけでも英文であるとよい。

・ホームページは自動翻訳できるため、関連ページにQRで飛ばせば翻訳した情報を見てもらえるのでは。

・国際交流員の存在を知らない外国人も多く、広報や幼児センターからのお知らせでわからない内容があるときにどこに問い合わせたらよいか困っている外国人もいた。

・広報への折り込みチラシが多い。特に11月号の時は多かった。紙が増えることはよいことではないので、QRを使って誘導するなどほかのツールに置き換えていく必要がある。

・情報発信の仕方が変わってきている。LINEやインターネットを用いて紙を削減するように努めてほしい。

●広報広聴全般について

・町のフェイスブックの投稿内容が寂しい。もう少し工夫して、リンク先へ飛んでもらう工夫をしてはどうか。LINEで配信される情報は広報の表紙なども掲載されていて読もうと思う。

(大野) 現在の投稿方法は、各担当者でホームページを編集した際にSNSへも投稿するかどうかを選べる。投稿する際は、編集したページのタイトルとリンクがデフォルトで入力

されていて、投稿内容は変更することができるが、直さずに投稿する担当者がほとんど。

- ・ SNS へ投稿された後に広報担当者で投稿内容を調整して再投稿などしてはどうか。
- ・ ホームページは見やすく、自動翻訳はありがたいが、一番最後のリンクしてある PDF まで翻訳されないのは残念。
- ・ AI チャットなどを導入してはどうか。
- ・ 昨年度、あそぶっくで多言語コーナーを開設した。すべてを翻訳するのは不可能なので、できるところからやっというスタンスで取り組んでいるが、外国人住民のみならずからは好評をいただいている。少しでも伝えようとする姿勢を見せることが重要。
- ・ おばんです町長室など、町長と直接お話しできる機会があるのはありがたい。
- ・ まちづくり町民講座に参加したことがあるが、そこで出た意見をどのように反映させたのかわかるようになってよと思った。そうすると次回の参加意欲が出てくる。
(高瀬) まちづくり懇談会は、出された意見をまとめて対応が必要なものは各担当者に対応してもらい、その結果を町民にフィードバックするようにしている。
- ・ まちづくりトークを利用したが、町長や町の担当者と直接お話しできるのはよいシステムだと思う。
- ・ 町民講座は 2~3 か月に一度のペースだが負担ではないか。
(大野) 広報広聴係が主導で行っているわけではないので問題ない。
- ・ 町民講座の動画を投稿しているのはアーカイブとしての利用か。
(四條) YouTube に町公式アカウントがあり、そこに投稿している。過去の PV なども存在するが、最近は主にこちらで編集した町民講座の動画を投稿している。最新の投稿が町ホームページのトップに反映される。
- ・ 再生数はどれくらいか。
(四條) 100 回再生前後
- ・ せっかく動画を投稿しているので SNS などで周知して再生数を増やしてはどうか。
- ・ YouTube で過去の町民講座などが視聴できることをもっと周知してはどうか。チャンネルがあることも周知したほうがいい。
- ・ 誰が投稿、発信しているのかパーソナリティの顔が見れるようにして広報誌や動画へ導入すると伸びるのではないか。
- ・ Instagram がまだ町公式のものがない。ニセコの魅力を発信するのによいツールだと思う。始めてみてはどうか。
(四條) 現在、導入を検討している。
- ・ 防災ラジオが新しくなったが何が変わったのか。
(四條) 旧ラジオからの更新点を説明

【次回】

- ・ 2 月ごろ、予算説明書の内容を主な議題として開催予定。